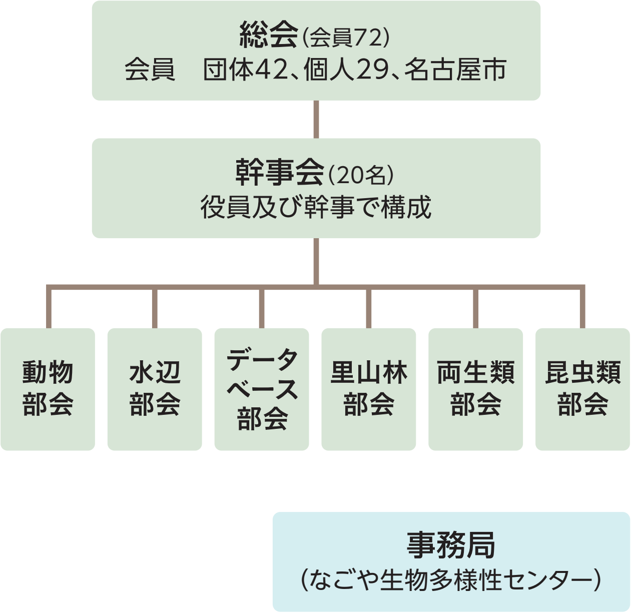
●設立の経緯

「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」の名古屋市開催（2010年）を契機として市民の間で盛んになった、身近な自然や生きものを守り育てていこうという取り組みを継承・発展させていくため、市民（団体）、専門家、行政等による協働のプラットフォームとして2011年5月に「なごや生物多様性保全活動協議会」が設立されました。また、同年9月には名古屋市が「なごや生物多様性センター」を設立、協議会の事務局を務めています。

●活動の目的

- なごやに生息・生育する生物及びその環境を継続的に調査し、生物多様性の現状を把握する。
- 外来種防除などを通し、身近な自然の保全を実践する。

●組織（2025年8月末現在）



総会（会員72）
会員　団体42、個人29、名古屋市

幹事会（20名）
役員及び幹事で構成

動物部会
水辺部会
データベース部会
里山林部会
両生類部会
昆虫類部会

事務局
（なごや生物多様性センター）

助成金制度への寄付の募集等

助成金制度への寄付を募集しています

なごビオでは自然環境保全に取り組む学校の部活動等に助成金を交付し、支援しています。この助成金制度に対する寄付を募集しています。皆さまの寄付金が環境保全活動の次世代の担い手づくりにつながります。

市民生きもの調査員を募集しています

なごビオが実施する生きもの調査等に参加していただく方を募集しています。調査員にはなごビオのイベントのご案内を随時差し上げます。

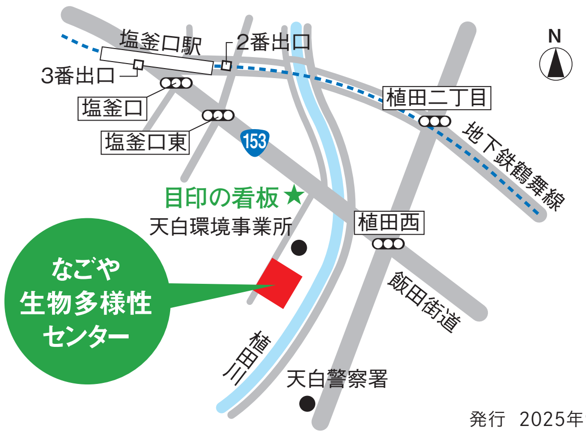
生きものの生息・生育情報を募集しています

市民の皆様から名古屋市内で見かけた様々な動植物の目撃情報を募集しています。

詳しくは下記ウェブサイトをご覧下さい。
https://www.bdnagoya.jp　　ウェブサイト
二次元バーコード▶

なごビオの所在地・連絡先

名称：**なごや生物多様性保全活動協議会**
住所：〒468-0066
名古屋市天白区元八事五丁目230番地
（なごや生物多様性センター内）
電話：052-831-8104　FAX：052-839-1695



発行　2025年9月

なごビオ
なごや生物多様性保全活動協議会

オワリサンショウウオ

団体会員一覧

相生山緑地自然観察会
「あいちの海」グリーンマップ
愛知守山自然の会
雨池ホタルの会
荒池ふるさとクラブ
大高竹の会
大高緑地湿地の会
尾張サンショウウオ研究会
白玉星草と八丁トンボを守る島田湿地の会
雑木林研究会
滝ノ水緑地の里山と湿地を育てる会
地球ハグ倶楽部
中部蜘蛛懇談会
東谷山湿地群保全の会
中志段味の自然を次世代に伝える会
なごや環境大学実行委員会
公益財団法人 名古屋港緑地保全協会
名古屋昆虫同好会
名古屋産業大学大学院環境マネジメント研究科長谷川研究室
名古屋自然観察会（愛知県自然観察指導員連絡協議会名古屋支部）
名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち
名古屋市立大学大学院理学研究科生物多様性研究センター
名古屋大学生物研究会
なごや森づくりパートナーシップ連絡会
NPO法人 なごや東山の森づくりの会
NPO法人 日進野菜塾
日本カメ自然誌研究会
日本野鳥の会愛知県支部
日本ワシタカ研究センター
花水緑の会
隼人池を美しくする会
ビオトープ・ネットワーク中部
NPO法人 藤前干潟を守る会
三河淡水生物ネットワーク
名城大学野生動物生態研究会
名東自然観察会
名東自然倶楽部
もりづくり会議
守山リス研究会
矢田・庄内川をきれいにする会
山崎川グリーンマップ
四日市大学環境情報学部野生動物保全学研究室

1 広報・PR事業

なごや生物多様性サマースクール

生物多様性を知る第一歩として、毎年、夏休みに小中学生を対象に「なごや生物多様性サマースクール」を開催しています。「夏休みの宿題応援します！」をテーマに、なごビオ会員が講師となり、幅広い講座を企画しています。毎年、定員を大幅に上回る多くのご応募をいただいております。

2025年度までの14年間で3,000人以上の子どもたちに参加していただきました。

巣箱を作って森に小鳥を呼ぼう!
（2024年度）

田んぼと畑で生きものさがし
（2024年度）

オオキンケイギク対策

2015年度から毎年5月に山崎川河川敷（瑞穂区）でオオキンケイギクの駆除活動を継続して実施しています。また、植田川河川敷でも抜き取り会を実施しており、オオキンケイギク対策の啓発にも努めています。

山崎川河川敷での駆除活動
（2025年度）

なごや生きもの一斉調査

毎年、対象の生きものを決め、市民の皆さんとともに、市内の主要な緑地・公園等で調査を実施しています。2024年度までの14年間で6,400人以上に参加していただきました。

アメリカザリガニとエビ・カニ類調査

最近の実績

- 2022年度 陸貝
- 2023年度 ハエトリグモ
- 2024年度 アメリカザリガニとエビ・カニ類

池干し

池の水を抜いて、そこで生息している生物種・個体数を調査するとともに、外来生物を除去したり、生きもの観察会などによる環境学習を行っています。前身の「ため池協議会」の時代を含め2024年度までに20か所で池干しを行い、地元の方などの参加も含め5,600人以上に参加していただきました。

水広下池の池干し

最近の実績

- 2022年度 蛇池公園蛇池
- 2023年度 隼人池公園隼人池
- 2024年度 水広公園水広下池

2 動物調査と保全対策部会の事業

(1) ニホンイシガメの保全

生息地の個体を保護し、域外保全での繁殖による個体数の回復・系統維持を目指す。

ニホンイシガメの域外保全

(2) カメ類の調査と外来カメの防除

カメ類の生息調査とミシシッピアカミミガメをはじめとする外来カメ類の防除を行う。

浮き島型ワナによる捕獲

(3) 哺乳類の調査と外来哺乳類の防除

自動撮影カメラや捕獲罠によって哺乳類の生息状況を調べ、アライグマ等の外来哺乳類の防除を行う。

カゴ罠による哺乳類調査

(4) コウモリ類の調査と保全

音声により、コウモリ類の分布状況を把握し、ねぐら等の保全を行う。

バットディテクターによる調査

(5) 哺乳類の分析と標本作製

調査で得られた生物を解剖し分析するとともに、標本を作製し、啓発活動に活かす。

標本作製

3 水辺の生きもの部会の事業

(1) 水辺の生きもの調査

名古屋市内を中心に河川やため池などに生息する水生生物の調査を行う。工事等が予定されるため池等について、水生生物を保全するための事前調査および事後調査を行う。

調査の様子

(2) 調査・保全に携わる次世代育成

若者を対象に調査方法や生きものの取扱い方、標本の作成および管理に関する技術などを教える。また、知見を広げるための講座や勉強会を開催する。

学生による調査の様子

(3) なごやの希少種対策

カワバタモロコやオニバス等、なごやの絶滅危惧種の分布状況を調査する。必要に応じて生息域内外での保全について検討、実施する。

絶滅危惧種のカワバタモロコ

(4) 外来種対策及び普及啓発

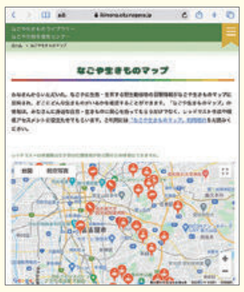
生態系に悪影響を及ぼす園芸スイレンなどの外来生物について、地元団体と協力し駆除活動を行う。新たな外来生物が侵入していないか調査し、確認された場合には早期対策を行う。

園芸スイレン駆除の様子

4 生物情報モニタリングデータベース部会の事業

(1) 生物情報の収集・登録・発信

なごや生物多様性センターのウェブサイト上の「なごや生きものマップ」を通じて生物情報を収集し、分布図を公表。


なごや生きものマップ

なごや生きものマップ

(2) 写真等のデータベース化

過去のなごやの写真・フィルムをデジタルデータ化するとともにデータベース化する。

(3) ドローンによる空撮

なごやの自然の今を記録に残すため、ドローンによる空中写真の蓄積を進める。

猪高緑地塚ノ杁池

5 里山林・社寺林部会の事業

(1) 植物相植生調査・巨樹調査

市内の主要な緑地、保全地区、社寺林などで植生調査、植物相調査、巨樹調査を実施。具体的に保全すべき場所や種を明らかにする。

2019年から、千種区、名東区、東区、熱田区、昭和区、天白区、緑区、守山区、港区、南区等で実施

植生調査（天白渓）

ササユリの調査（平和公園）

(2) 希少種の生育環境調査

希少種の保全のため分布や生育環境について調査。保全に必要な環境条件等の啓発につなげ、環境学習の素材として有効な情報を提供する。

活動場所：平和公園、
小幡緑地、
大高緑地、
猪高緑地 等

クロミノニシゴリの調査
（小幡緑地）

(3) 現地管理者・保全団体等との情報交換会

部会の調査で得られた情報を現地管理者、行政、市民等に伝える仕組みづくりを行う。

情報交換会
（みどりが丘公園）

6 両生類部会の事業

(1) 両生類の生息調査

全国的に個体数が減少しているカエル類やサンショウウオ類、イモリ類の生息調査を行い、保全活動の基盤となる情報を集積する。

オワリサンショウウオの調査

タゴガエルの幼生

(2) 遺伝子分析による調査

外部形態の特徴とDNA分析によってナゴヤダルマガエルの地域ごとの交雑状況等を調べる。

遺伝子の分析

(3) 生息域内外での保全活動

オワリサンショウウオやアズマヒキガエル等の生息環境の改善に向け、産卵地の改善や産卵した卵のうを一時的に保護し、幼生の放流を行うことで生息数の回復を図る。

生息域内での保全

生息域外での保全

(4) 外来カエル・ザリガニの防除

在来の両生類を保護するとともに、与える影響を調べるために、ウシガエルやアメリカザリガニの防除を行う。

新型ザリガニ罠での捕獲

7 昆虫類部会の事業

(1) 定点調査

毎年、名古屋市及びその周辺の緑地公園1～2か所で、様々な採集方法により、そこに生息する昆虫類（クモを含む）やその環境を調査し、生物多様性の現状を把握する。

ライトトラップ

(2) 若手連携の採集調査会

名城大学附属高校自然科学部と連携し、庄内川河川敷の昆虫類の生態観察や採集した昆虫の標本化をとおして、体の構造などを理解することで自然を理解し次世代育成を行う。

採集した昆虫の同定と標本化

なごビオでは以下の事業にも取り組んでいます

●活動支援事業

なごビオ会員が行う生物多様性保全の活動に対して、調査機材の貸出しや講師等の派遣及び会場借上げ費用の助成を行っています。また会員以外の地域団体の活動にも調査機材の貸出しなどを行っています。

●助成金制度

自然環境保全に取り組む学校の部活動等の活動に助成金を交付し、次世代の担い手づくりを支援しています。毎年1月に次年度の交付金申請を募集しています。

東海中学・高等学校の
ネイチャーアクアリウム
（2024年度助成団体）

●イベントへの出展

「環境デーなごや中央行事」や「なごや生物多様性センターまつり」に参加し、なごビオの活動を展示などにより紹介しています。

受賞歴

「生物多様性アクション大賞2019審査員賞」
（2019年度受賞、環境省）

「あいち・なごや生物多様性ベストプラクティス」
（2020年度受賞、愛知県・名古屋市）